

オンライン勉強会

「地理必修化を東北から考える」

青森大学・櫛引素夫

2022年度から「地理総合」が高校で必修化されます。しかし、社会はもちろん、教育現場でも「実感が乏しい」との指摘があります。この必修科目を担当することとなる50代前半までの教員の多くは、高校時代に地理を履修していません。このため、「地理」を教える環境をどう整えるかが緊要な課題となっています。地理総合の必修化はどんな課題と可能性をはらんでいるのでしょうか。そもそも、「地理」って何だろう、東北の来し方行く末にどう関わっていくのでしょうか――。

「コロナ元年」、そして「オンライン元年」となった2020年初夏、ネットを舞台にした情報共有・意見交換の場づくりの試行を兼ねて、「東北×地理×コロナ」をキーワードに、オンライン勉強会を開催します。

▽開催日時： 6月27日（土）15:00～16:30（14:30開場）ビデオ会議にて開催

▽参加費：無料

▽対象と定員

- ・地理が好きな人、気になっている人
- ・東北が好きな人、気になっている人
- ・地理必修化が気になっている学校関係者・学生等
- ・先着30人

▽申し込み方法

メール、Facebookのメッセージ、で下記まで、お申し込みください。後日、ビデオ会議のURLをお送りします。

Eメール kushibiki@aomori-u.ac.jp（事務局：櫛引素夫）

Facebook <https://www.facebook.com/motookushibiki>

▽次第（敬称略）

- ①趣旨説明 …15:00～15:05 櫛引素夫
- ②問題提起 …15:05～15:15 山内洋美
- ③トーク …15:15～15:35 櫛引・山内
- ④コメント（1） …15:35～15:45 廣瀬俊介：社会の側から見た『地理』の課題と魅力
- ⑤コメント（2） …15:45～15:55 三橋浩志：論点整理と提起
- ⑥フリートーク …15:55～16:25（進行・櫛引）
- ⑦クロージング …16:25～16:30

▽問題提起の視点

- 1) 学校教育における「地理」とはなにか、そして必修「地理総合」で目指す新しい「学力」を養うことのできる、「地理」的な授業とはなにか
- 2) 東日本大震災被災後、さらにコロナ禍中の、そして未来の東北で必要とされる「地理」教育とはなにか

▽問い合わせ先

〒030-0943 青森市幸畑2-3-1 青森大学社会学部 櫛引 素夫

電話 017-738-2001（内線731） kushibiki@aomori-u.ac.jp

主催：「地理必修化を東北から考える」実行委員会 後援：東北地理学会